

平成27年度 行政評価 施策カルテ

| | |
|-----|-----------------|
| 施策名 | 1 安全で快適な河川環境の整備 |
|-----|-----------------|

| | | | |
|-------|-----|---------|--------|
| 施策主管課 | 河川課 | 総合計画記載頁 | 127ページ |
|-------|-----|---------|--------|

1 施策の位置付け

| | | | | | |
|------|--------------------|----------------|-------------------|---------------------|---|
| 政策の柱 | Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために | 政策名 (基本施策名) | 14 良好な水と緑の環境を創出する | 政策の達成目標 (基本施策目標) | 市民が身近に自然と親しめる良好な水と緑の環境が創出され、自然との共生が深まっています。 |
|------|--------------------|----------------|-------------------|---------------------|---|

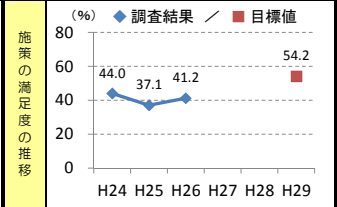
2 施策の取組状況

| | |
|------|-------------------------------|
| 施策目標 | 環境と調和のとれた安全で快適な河川環境が創出されています。 |
|------|-------------------------------|

| ① 施策指標 | 指標名(単位) | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 (目標年) | 評価 | ② 市民意識調査結果 | 指標2 | 指標名(単位) | | H24 (現状値) | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | 評価 | |
|--|----------|-------------------------|---------|--------|--------|--------|-------|--------------|--------------------|------------|------------|----------|-------|--------------|-----|-----------|------|------|-------|----|-------|
| | 指標1 | 自然生態などに配慮して整備している河川の整備率 | | 単年度目標値 | 57.8% | 59.1% | 59.5% | 59.8% | | | | 60.3% | 60.9% | A | 指 | 施策の満足度(%) | | 調査結果 | 44.0% | | 37.1% |
| 現状値 | | 58.0% | 実績値 | 60.4% | 61.4% | 61.7% | | | | 目標値(H29) | 54.2% | 前年度からの増減 | | | | -6.9% | 4.1% | | | | |
| 目標値(H29) | | 60.9% | 単年度の達成度 | 104.5% | 103.9% | 103.7% | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照) | | | | | | | | | | B | | | | | | | | | | | |
| ① 施策指標 | 指標名(単位) | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | 【参考】 中核市等との水準比較 | 指標名(単位) | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | | | | |
| | 現状値 | 実績値 | | | | | | | | | 中核市平均 | | | | | | | | | | |
| | 目標値(H29) | 単年度の達成度 | | | | | | | | | 実績値 | | | | | | | | | | |
| | 現状値 | 実績値 | | | | | | | | | 中核市での本市の順位 | | | | | | | | | | |
| | 現状値 | 実績値 | | | | | | | | 中核市平均 | | | | | | | | | | | |
| | 目標値(H29) | 単年度の達成度 | | | | | | | | 実績値 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 中核市での本市の順位 | | | | | | | | | | | |

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

| | |
|----------------------------------|---|
| ★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの) | $\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$ |
| ★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの) | $\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$ |



| | | | | |
|----------|---------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| ※ 評価の考え方 | ① 施策指標 | A: 達成度90%超 [33点] | B: 達成度70%~90% [25点] | C: 達成度70%未満 [15点] |
| | ② 市民意識調査結果(満足度) | A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点] | B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点] | C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点] |
| | ③ 主要な構成事業の進捗状況 | A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点] | B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点] | C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点] |
| 総合評価 | 順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上] | | 概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満] | やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満] |

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

| | | | | | |
|------------|--|-------|---|------|-----|
| 施策を取り巻く環境等 | ・都市化の進展と近年の異常気象により溢水被害が発生している。 | 市民満足度 | ・自然生態などに配慮して整備している河川の整備率は目標値に達しているものの、一部地域において近年の豪雨などにより溢水被害が発生していることなどから、目標値に達していない結果になっていると考えられる。 ・市民満足度調査における個別施策(安全で快適な河川環境の整備)の取組について、広く市民に認知されていないことから、目標値に達していない結果になっていると考えられる。 | 総合評価 | 83点 |
| 施策指標 | ・市民参加による河川愛護活動や河川環境基金を活用した事業により、良好な河川環境と市民の河川愛護意識の高揚に成果をあげている。 ・溢水被害解消のための河川整備は計画的に進捗している。 ・自然生態などに配慮して整備している河川整備率についても、計画どおりの進捗である。 | | | 概ね順調 | |

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

| No. | 事業名 | 戦略P・主要事業※ | 事業が属する総合計画の構成事業名 | 事業内容 | | 事業の進捗状況 | H26事業費(千円) | 開始年度 | 日本一施策事業 | 施策目標を達成するための取組方針 |
|-----|--------------------|-----------|--|-------------------------|---|---------|------------|------|---------|--|
| | | | | 対象者・物(誰・何に) | 取組(何を) | | | | | |
| 1 | 河川環境基金事業 | | ・川の日クリーン作戦の推進 ・河川維持管理 | ・市内全域の市民 | ・川の日クリーン作戦の実施 | 計画どおり | 607 | H3 | | ・市民の河川環境への関心や保全意識の向上を図るため、川の日クリーン作戦として、スポーツの要素を加味した清掃イベントを実施する。 ・清掃イベント実施の際には、より多くの活動参加を促すため、広報紙等によるPRに努める。 |
| 2 | 河川愛護活動事業補助金 | ★ | ・河川愛護活動の促進 | ・宇都宮市河川愛護会に所属する河川愛護グループ | ・河川愛護活動への支援 ・会報の発行 ・意見交換会の実施 | 計画どおり | 2,119 | S45 | | ・河川愛護意識の高揚を図るため、河川愛護グループへの活動支援をするとともに、意見交換会による情報交換を実施する。 ・河川愛護活動について、さらに多くの市民の理解や参加を促すため、河川愛護グループの活動状況などのPRに努める。 |
| 3 | 都市基盤河川御用川整備事業 | ★ | ・河川整備事業の推進 ・いっ水被害の解消 ・多自然川づくりの推進 | ・流域に居住する市民、地権者 | ・地権者との用地交渉 ・用地買収補償 | 計画どおり | 3,975 | H3 | | ・都市基盤河川御用川について豪雨時のいっ水被害早期解消のため、国庫補助金の導入など財源確保に努め事業を実施していく。 ・御用川整備事業用地については、地権者の理解を得ながら、用地確保に努め、河川整備を推進していく。 |
| 4 | 都市基盤河川奈坪川整備事業 | ★ | ・河川整備事業の推進 ・いっ水被害の解消 ・多自然川づくりの推進 | ・流域に居住する市民、地権者 | ・トンネル工の施工 ・護岸工の施工 ・地権者との用地交渉 ・用地買収補償 | 計画どおり | 1,287,970 | H20 | | ・都市基盤河川奈坪川について豪雨時のいっ水被害早期解消のため、国庫補助金の導入など財源確保に努め、優先的かつ重点的に事業を推進していく。 ・奈坪川整備事業用地については、地権者の理解を得ながら、用地確保に努め、河川整備を推進していく。 |
| 5 | 準用河川整備事業 | ○★ | ・河川整備事業の推進 ・いっ水被害の解消 ・多自然川づくりの推進 | ・流域に居住する市民、地権者 | ・河川改修工事の施工 ・バイパス築造工事の施工 ・地権者との用地交渉 ・用地買収補償 | 計画どおり | 446,780 | S50 | | ・準用河川整備事業について、豪雨時のいっ水被害早期解消のため、国庫補助金の導入など財源確保に努め、河川改修や調整池整備などの事業を計画的に推進していく。 ・準用河川整備事業用地については、地権者の理解を得ながら、用地確保に努め、河川整備を推進していく。 |
| 6 | 普通河川整備事業 | ★ | ・河川整備事業の推進 ・いっ水被害の解消 ・多自然川づくりの推進 | ・流域に居住する市民、地権者 | ・調整池築造工事の施工 ・水路改修工事の施工 ・地権者との用地交渉 | 計画どおり | 26,259 | S47 | | ・普通河川整備事業について、豪雨時のいっ水被害早期解消のため、限られた予算の中で選択と集中により、効率的な河川整備を推進していく。 |
| 7 | グラウンドワーク活動センター指定管理 | | ・グラウンドワークの促進 | ・指定管理者 | ・施設の管理及び施設を利用した自然環境保全事業、環境に関する学習活動の企画実施等 | 計画どおり | 3,934 | H17 | | ・指定管理業務については、年間を通じて指定管理者により適正な施設管理が行われており、指定管理を継続していく。 ・なお、指定管理者により、住民・企業・行政が一体となった地域の環境改善活動を推進するため、環境に関する教育や農村部の地域資源の調査・研究・保全、農村交流事業などが行われている。 |

4 今後の施策の取組方針

| 今後の方向性 | |
|--------|---|
| 課題 | <p>◆都市化の進展と昨今の異常気象により、豪雨時の溢水被害が発生しており、早期の被害解消が求められている。</p> <p>◆本市の財政負担を軽減するため、国庫補助金を有効活用した河川整備事業を推進する必要がある。</p> <p>◆河川愛護会メンバーの減少や高齢化などにより、河川愛護活動等の停滞が懸念されることから、市民・行政の協働による参加者の新たな掘り起こしが必要である。</p> |
| | <p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆溢水被害を解消するとともに、良好な河川環境を創出するため、自然環境に配慮した河川整備を推進する。 ◆市民参加による河川愛護活動や河川環境基金を活用した事業により、良好な河川環境の形成につながる河川愛護意識の更なる高揚を図る。</p> <p>〈主要事業〉 ◆豪雨時に溢水被害が発生する越戸川については、国庫補助金を導入し財源確保に努めるとともに、計画的に整備を推進する。 ◆また、本格改修までには時間を要することから、昨年、溢水被害が起きた地域の被害の軽減を早期に図るため、ちとせ寮跡地を活用した暫定調整池の整備や平出工業団地緑地帯内の浸透施設の整備を実施する。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆依然として豪雨時等に溢水被害が発生している奈坪川等の河川整備については、国庫補助金を導入し財源確保に努めるとともに、更なる国庫からの財政支援を確保するため国や県に働きかけを行い、河川整備事業を計画的に推進する。 ◆愛護活動参加者の掘り起こしを行うため、河川愛護会等との連携を図り、イベント型のクリーン作戦や広報活動などのPRを継続的に行う。</p> |